

今年度も中央支援学校の生徒さんたちを迎え、農園でのさつまいもの交流活動を行っています。苗植えからつるの返し、そしてこれから予定している芋ほりまで、一連の流れを体験しながら、自然に親しみ、人と人とのつながりを深める貴重な機会となっています。

5月の苗植えでは、生徒の皆さんが畝に沿って一株ずつ苗を植えました。その際にははぐるまの仲間たちが「苗は少し斜めに寝かせるといいよ」「土をかぶせたら力いっぱいおしてあげてね」と声をかけ、実際にやり方を示しました。先生にサポートされながら慣れない手つきながらも生徒さんたちが真見真似で挑戦する様子に、教える側・教わる側の双方に笑顔が広がりました。

「中央支援学校のさつまいも体験受け入れ」



9月のつるの返しでは、畑いっぱいに伸びたつるを見て驚きの声をあげる生徒さんの姿がありました。作業に苦戦する生徒に対し、仲間たちが「こうやって両手で持つとやりやすいよ」「アドバイスする場面もあり、まだまだ暑い気候の中で作業を行いましたが一緒に汗を流しながら協力することで自然と一体感が生まれました。」

この一連の活動は、農作業を経験するだけでなく、自然の恵みに感謝し、協力して取り組むことの大切さを学ぶ場となっています。また、はぐるまの仲間たちが先生役となって生徒さんに作業を教える場面は、世代や立場を超えてお互いを尊重し合う大切な交流の形でもあります。

はぐるま穂原農園 石澤



【次号予告】

はぐるまだより次号は12月中旬発行を予定しています。10月にきょうされん全国大会、11月に収穫祭、12月には登山も予定しています。これらの様子も今後の紙面でご報告いたしますので、どうぞご期待ください。

はぐるま



はぐるまだより

No. 128

2025年10月23日
発行

社会福祉法人
はぐるまの会
広報部会

川崎市多摩区菅馬場
1-19-24

044-946-1308

10月20日(土)第3回みらば祭りが開催されました。
当日はあいにくの雨や曇りの予報でしたが、多くの地域の方々が来場してくださいました。

カレーなどフードの販売を行い、にぎやかな雰囲気となりました。
2階では、染、アトリエの自主製品を展示・販売しました。毎日ミシンの練習をがんばっている仲間が、一生懸命縫った巾着も並び、「上手だね」とお客さんに声をかけてもらい、とても嬉しそうでした。

→2面につづく
様子が見られました。いつか私もふきんを縫えるようになりたい。そのふきんを売りたい」と、新たな目標を話し、自分で作ったものが喜ばれる経験を通じて、大きな励みになったようです。

第3回みらば祭りが開催されました



3階では地域の方、お母様たちによるフリーマーケットが行われ、リサイクル品や手作り製品など、バラエティ豊かな商品が並び多くの方に立ち寄りいただきました。



続いて第二部では、花火大会に向けて焼きそばや、ソーセージなどの販売を行いました。また、屋上も解放され、来場者の皆様には開放感のある空間で花火を楽しんでいただけました。



今回のみらぼまつりも、

地域の方々のフリーマーケットへのご参加、そして準備や運営を支えてくださったお母様方のお力添えのおかげで、地域の皆様をおもてなしすることが出来ました。ありがとうございました。



まだまだ試行錯誤の段階ですが、今後より多くの地域の方々にご参加いただけるよう、引き続き計画・工夫を重ねていきます。

はぐかふえ 金田 絵美



みらぼ人形劇フェスタ

みらぼホールに、ブタの勇者、うさぎちゃん勇者、かわいいギャル勇者が集い、わるい鬼をやつた！

8月30日(土)の「みらぼ人形劇フェスタ」の一幕です。昨年に引き続き、2回目の開催です。川崎市文化財団のバラアート推進事業として、ここに「あおむし人形劇団と洗足学園音楽大学とはぐるまの仲間」とのコラボ企画です。カリタス学園女子中学高等学校の生徒さんもお手伝い(十演者も!)として活躍していただきワイワイ楽しかったです。お子様含む15名の観客のお客さまと、前半は手づくりの楽器をみんなで作りました。そして、リズムにのって演奏タイム。一気にオーケストラのような迫力のある合奏となって会場は盛り上がりました。



そしてメインの人形劇の発表。事前につくったお面やセツト道具、練習もバッチリ。本番に強い仲間たちなので会場を所せましと大活躍で、大盛況の中閉幕しました。

子供も親も、障害者も学生もみんなでのしむ場が、地域の中の日常につくれるということに本当にうれしく思います。

全体演出・指導いただいたもりまさのさん、音楽の魔術師・谷川先生、学生の皆さん、会場に来てくれた皆さん、全員にカンパーイ！

事業本部 金田 圭二

感謝状をいただきました



6月28日、「多摩川感謝プロジェクト」より、はぐるまの仲間たちが感謝状をいただきました。「感謝プロジェクト」とは、多摩川に遊び、多摩川を愛し、多摩川で楽しみ慈しむ思いでつながるネットワークとして、市民団体やNPO法人、河川事務所など14の団体が参加しているプロジェクトです。

今回、NPO法人多摩川エコミュージアムからの推薦を受け、日頃の清掃活動や「クリーンアップ」たまへの取り組みを通じて多摩川を大切にしている団体として感謝状を贈呈されました。

当日は、普段から清掃活動に参加している「みらぼ土曜日クラブ」の仲間たちが見守る中、多摩川感謝プロジェクト事務局より感謝状が授与されました。続いて、巨大な多摩川マップに「みらぼ」の位置を示すシールを貼るセレモニーが行われ、会場は大いに盛り上がりました。この感謝状は、仲間たちの日頃の小さな活動の積み重ねが、多摩川の環境を守る大きな力になっていることを改めて確認させてくれるものとなりました。今後も地域の皆さまとともに、多摩川に感謝し、自分たちの住む街をより良くする活動を続けてまいります。

染乃家 江原

夏休みの活動から

今年の夏休みは、例年とは異なり、作業所ごとの通常活動となりました。染乃家では、夏休み期間中も出席率が約8割と高く、通常の活動も継続して行いました。普段は販売する製品を作っており、自分のものを作る機会はないかなありません。そのため今回の夏休み期間の一日を利用して、「自分のために、自分で模様をつけ、自分で染める」染めるときに握りしめてしまっても、模様付けがセオリー通りでなくてもOK。製品づくりではできない、それぞれの個性を活かした藍染めでハンカチを制作し、各自持ち帰ってもらいました。

最終日には、日頃の活動の労をねぎらう「お疲れさま会」を兼ねて、座間市内の福祉事業所が運営するカレーショップと、JAXA相模原キャンパスを訪問しました。いつもとは違う環境の中で、それぞれが思い思いに楽しむ姿が見られ、参加者にとって良いリフレッシュの機会となっていれば幸いです。

染乃家 江原

